

施策番号	1203		
施策名	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進		
概要	外国籍市民等に対して多言語によるコミュニケーションの支援や生活支援を行うとともに、市民が外国籍市民と交流し様々な国の文化にふれる機会を充実させ、外国籍市民等がくらしやすく活躍できる、多文化が息づくまちとする。		
担当局・部室	総合企画局・国際化推進室	共管局・部室	
上位政策	12 国際化		
施策に関する主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数(留学生等除く)(人)	-	-	11,905	11,847	12,048	98.3%	b	1.00	
2 留学生数(人)	b	b	6,445	6,711	7,533	89.1%	b	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらするまちになっている。	42	184	191	60	36	513	c	
	8.2%	35.9%	37.2%	11.7%	7.0%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					25 年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 多文化共生に対する評価は、市民の理解を得ているかが重視されるべきであると考え、市民生活実感調査総合評価を重視する。						24 年度	C
(原因分析) 【客観指標】●外国籍の住民基本台帳登録者数については、目標値には達しなかったものの登録者数の大幅な減少が見られなかったため、b評価となった。これは、在留資格のうち「家族滞在」「教授」については減少したものの、「永住者」「人文知識・国際業務」については増加したためである。 ●留学生数については、各大学との連携による留学生誘致対策により一定の増加数を維持しているため、3年連続b評価と安定している。 【市民の実感】前年度に引き続きc評価となっている。これは、市民が外国籍市民等やその文化にふれる機会は拡充していると考えられるが、外国籍市民等が身近な地域社会で活躍し、多文化が定着していると多くの方が感じる段階には至っていないためであると考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	多文化共生施策の総合的な推進	18,832	22,933	普通	総合企画局
2	留学生誘致に向けた京都の大学紹介セミナー等の実施	8,666	8,591	かなり良い	総合企画局
3	「大学のまち 京都」の魅力を感じて短期留学受入事業	—	5,421	—	総合企画局
4	留学生対策事業	26,420	26,588	良い	総合企画局
5	地域・多文化交流ネットワーク事業	23,167	24,901	良い	保健福祉局
6	留学生誘致に向けた「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力発信	—	6,721	—	総合企画局
7	外国人学校の環境整備	—	24,759	—	総合企画局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 引き続き、外国籍市民や留学生にとって暮らしやすい環境とするため、生活支援やコミュニケーション支援の取組を継続実施する。
- 外国籍市民等が身近な地域社会で活躍し、多文化が息づくまちづくりが課題となっているため、外国籍の人だけではなく、多様な文化的背景をもつ市民の社会参加を促進するとともに、市民が外国の文化や言語に触れ合う機会を提供するため、外国籍市民等を登録し、市内の学校や民間団体の会合、イベント、研修等に派遣する「京都市国際文化市民交流促進サポート事業」の取組について、広報の強化により、登録者の人材確保を図り、地域、福祉施設、企業などが、積極的に当事業を活用していただくように努めていく。

施策名	1203	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進
-----	------	------------------------------------

指標名	京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く）（人）
-----	----------------------------------

担当課	国際化推進室	連絡先	222-3072
-----	--------	-----	----------

1 指標の説明

市内に在住する外国籍市民の数

2 指標の意味

魅力的な国際都市の実現に向けた外国籍市民の暮らしやすさを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ（京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く））

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	11,905	11,847	58人減	12,048	前回数値に旧制度時の直近5箇年（19年～23年）の増加率の平均値である1.2%を掛けた値	98.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	平成24年7月の外国人登録制度廃止及び外国籍市民への住民基本台帳法適用開始に伴い、平成24年度から指標を変更したため、来年度からは平成24年度以降の最高値を目標値とする。
----	---

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
-	-	b

指標名	留学生数（人）
-----	---------

担当課	国際化推進室	連絡先	222-3072
-----	--------	-----	----------

1 指標の説明

京都市内に本部を置く大学・大学院・短期大学に在学する留学生数

2 指標の意味

魅力的な国際都市の実現に向けた外国人留学生の暮らしやすさと学びやすさを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都地域留学生交流推進協議会

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	6,445	6,711	266人増	7,533	平成21年度現況値（5,065人）と中長期目標から各年度の目標を等差的に設定（617人増加）	89.1%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		10,000	29年度	67.1%	京都市国際化推進プラン（プラン策定時から倍増）

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
b	b	b